

KINKI-DAIGAKU SHOGAKU-RONKYU

The Journal of Business Administration

Vol. 15 No. 2 · Vol. 16 No. 1

July 2017

Articles (Vol.15 No.2)

A Study of Career Education of an Early Internship: The Case of KINDAI University
..... Takami Iwai 1

Articles (Vol.16 No.1)

A Study on Consumers Participatory Innovation: The Cases of Haier and Xiaomi
..... Xi Yu 13

The Relationship with Career Consciousness and Motivation to Learn Independently
among University Freshman Takami Iwai 23

Features and Challenges of Online Game Companies in the Component of Business
Model: Case Study of NEXON Sangjin Han 35

A Study on Revenue Recognition Takayuki Morita 53

Exports of Sake and Rules of Origin: The Field-work of Three Sake Manufacturers
and the Points of View Hiroyuki Tanaka 65

A Study on Inventory Accounting Ryosuke Aiuchi 77

Modal Shift as a Solution for the Labor Shortage Problem in Japanese
Trucking Industry Zhai Shuo 91

Published by
Graduate School of Business Administration
Kindai University
Higashi-Osaka, Osaka, Japan

近畿大学商学論究

第15巻第2号・第16巻第1号 合併号

論文 (第15巻第2号)

早期インターンシップのキャリア教育に関する一考察
—近畿大学を事例として— 岩井 貴美 1

論文 (第16巻第1号)

消費者参加型イノベーションに関する一考察
—中国のハイアールと小米科技の事例を通して— 于 溪 13

大学1年生の学業に対するリアリテショク状態における
職業意識と学ぶ意欲の関連性 岩井 貴美 23

ビジネスモデルの構成要素におけるオンラインゲーム企業の特徴と課題
—株式会社NEXONの事例分析— 韓 尚 眞 35

収益認識に関する研究 森 田 貴 之 53

日本酒の輸出と原産地規則
—酒造メーカー3社のフィールドワークとその見解— 田 中 寛 之 65

棚卸資産会計に関する研究 相 内 良 介 77

トラックドライバー不足問題へのモーダルシフトからのアプローチ 翟 碩 91

近畿大学商学論究

第十五巻第二号・第十六巻第一号 合併号

近畿大学大学院商学研究科

2017年7月
近畿大学大学院 商学研究科

執筆者紹介
(掲載順)

第15巻第2号

岩井貴美 ……商学研究科博士後期課程2年

第16巻第1号

于溪 ……商学研究科博士後期課程2年

岩井貴美 ……商学研究科博士後期課程2年

韓尚眞 ……商学研究科博士後期課程2年

森田貴之 ……商学研究科博士前期課程修了*

田中寛之 ……商学研究科博士前期課程修了*

相内良介 ……商学研究科博士前期課程修了*

翟碩 ……商学研究科博士前期課程修了*

(平成29年5月末現在)

*の執筆者は平成29年3月末に近畿大学大学院商学研究科博士前期課程を修了した者である。

近畿大学商学論究

第15巻第2号・第16巻第1号
合併号

近畿大学大学院商学研究科

編集発行人 古殿幸雄

平成29年7月31日



『近畿大学商学論究』投稿規定

『近畿大学商学論究』編集委員会

制定 平成15年5月10日

改正 平成25年5月22日

平成28年3月14日

平成28年4月6日

1. 投稿資格

『近畿大学商学論究』への投稿資格を有する者は、次の通りとする。

- ① 近畿大学大学院商学研究科博士後期課程在籍者
- ② 近畿大学大学院商学研究科博士後期課程満期退学者
- ③ 近畿大学大学院商学研究科博士前期課程在籍者
- ④ 近畿大学大学院商学研究科博士前期課程修了者（修了後1年以内）
- ⑤ その他商学研究科指導教員会議の議を経て商学研究科長が認めた者

2. 投稿の条件

投稿しうる原稿は未発表のオリジナルな研究論文等で、投稿について指導教員の下承を得たものとする。

3. 論文の査読

投稿者から査読の希望がある場合に、投稿論文の査読を行う。査読の手続きについては、別途、内規を定める。

4. 執筆要領

執筆要領については、別途、内規を定める。

5. 論文の掲載順と修正

原稿の採択および掲載順は編集委員会において決定する。掲載に際して、原稿に修正を加える場合は、投稿者と協議するものとする。

6. 著作権

『近畿大学商学論究』に掲載された論文等の著作権は、原則として著作者に帰属する。

7. 電子化公開

近畿大学商学論究に論文等が掲載された者は、国立情報学研究所及び近畿大学学術情報リポジトリによる近畿大学商学論究の電子化公開につき承諾したものとする。

付 則

1. 本規程は、平成15年5月10日より施行する。
2. 本規程の改定は、編集委員会において、委員の過半数の賛成によって行い、商学研究科指導教員会議の承認を得なければならない。

論 文

台湾における会計概念フレームワークの生成	仲尾次 洋 子
日本における包括利益の導入過程の解明とその有用性	張 姣
東軟グループの自主イノベーションに関する一考察	于 溪
中国における日系コンビニエンス・ストアの現状と戦略について — 一日中CVS比較を中心に —	蹇 世 欽
日本の企業組織に有効なサーバント・リーダーシップ特性の特定化	中 山 敬 介
日本の減価償却制度に対するIFRSの影響の分析	西 関 悠 真

編集後記

本号には、博士後期課程の学生3名ならびに博士前期課程を修了した学生4名による合計8編の論文が掲載されている。博士前期課程を修了した学生の論文は、審査に合格した修士論文を中心に改めてまとめ投稿されたものである。

近畿大学大学院商学研究科では、『近畿大学商学論究』に投稿する論文の研究水準の向上を目的として、平成28年度より編集委員会を設置し、投稿論文のうち査読を希望する論文に対して査読を実施する制度を開始した。本号においては、査読に合格した論文はないが、今後多くの論文が、査読に合格する水準に到達するために研鑽を行い、切磋琢磨して欲しい。

特に、近畿大学大学院商学研究科には、平成29年度4月現在で、博士後期課程1年次が1名、同2年次が4名、同3年次が2名、合計7名が将来研究者として活躍することを夢見て研究を続けている。これら若き研究者志望者が、査読に挑戦して研究を向上させるとともに、本誌が研究成果の公表媒体としてなお一層活用されるように願ってやまない。

なお、本号の最初の論文は、平成28年10月に投稿されたものであり、他の論文は、平成29年3月に投稿されたものである。そのため、本号は、第15巻第2号と第16巻第1号の合併号として発刊された。

本号の発行に当たり、関係事務局の方々からご助言ならびにご高配を賜った。また、編集作業については、商学研究科博士前期課程2年の畑岸邦枝氏の協力を得た。ここに記して感謝の意を表する。

平成29年7月 編集発行者 古殿 幸雄